

「豊かさとはなにか」を考えるフィールドワーク

今年 JIPPO は、フェアトレードを実施しているウバ地方の紅茶プランテーションと、首都コロombo郊外に住む人々の暮らしに触れるツアーを企画しました。スリランカは、多数民族のシンハラ人のほかに少数民族のタミル人、ムーア人が住む多民族国家です。タミル人の中でも「インドタミル」と呼ばれる人々は、イギリス植民地時代にプランテーション労働者として移住し、長い間、囲い込まれた状態で貧しい暮らしを強いられてきました。近年スリランカは、プランテーション経済から脱し、観光や工業による経済発展が進んでいますが、多くのタミル人の生活は貧しいうえ、彼らが支えてきた紅茶業も衰退の問題を抱えています。このスタディツアーは「国際協力」の基本である「自分の目で、心で感じるフィールドワーク」を学び、「豊かさとは何か」を考える絶好のチャンスです。

主な訪問地



グリーンフィールド農園

JIPPO が支援するウバ県ハプタレー地方の紅茶農園を訪問します。フェアトレードは生活の中でできる国際協力のひとつとして注目されています。スタディツアーでは、実際の生産現場を訪れることで、農業や流通の問題点をはじめ日本で暮らす自分たちの生活の在り方も見直す機会となるでしょう。

JIPPO は、フェアトレード農園が、高品質の茶葉を安定して供給でき、生産者の生活を向上させられるモデルケースになるよう、支援活動を続けています。

ハプタレー市立幼稚園

JIPPO は、フェアトレードの紅茶農園近郊にあるハプタレー市立幼稚園で園舎の改築支援を行ないました。この幼稚園は近くの農園や村から 60 人ほどの園児が通っており、シンハラ人、タミル人の区別や仏教、ヒンドゥー教、イスラム教の宗教に関わらず、ほとんどが貧しい家庭の子どもたちです。また、教育の質の向上を図るため、ハプタレー地区の各幼稚園教員を集めた教員研修も行いました。毎年スタディツアーではこの市立幼稚園を訪問し、教員や子どもたちと交流を図っています。

モラトワ（ホームステイ）

モラトワは、コロombo郊外にある木工家具の生産で知られる町です。シンハラ人が多く住む地域であり、伝統産業とともに最近では繊維工業など新たな事業に乗り出す人も増えています。スリランカの中都市で、一般的な暮らしを営む家庭に滞在し、スリランカの文化に触れます。

【JIPPO スタディツアーについて】

JIPPO は 2008 年 11 月に「世のなか安穏なれ」という願いのもとに設立された国際協力 NGO です。JIPPO の設立趣旨には活動の 4 つの柱があり、その一つが貧困問題に向けた取り組みです。JIPPO では、スリランカの紅茶をフェアトレードし、生産者と消費者が直接交流を深め、互いに学び合う関係を築いています。私たち JIPPO はこうした支援の現場に参加者が訪れ交流する機会を設けることで「知る、学ぶ、考える場所づくり」を提供します。

■申込締切日：7月8日（金）

■ツアーに先立ち、事前説明会および勉強会を実施します（8月上旬予定）

■参加者は JIPPO への会員登録をお願いします。正会員は年会費 10,000 円、学生会員は 3,000 円、賛助会員は 2,000 円。

■お申込み・お問い合わせ NPO 法人 JIPPO 担当：リボアル